

子どもの才能は3歳、7歳、10歳で決まる！

林成之 (幻冬舎 2011.1)

この本には副題があります。「脳を鍛える10の方法」です。著者は、子どもの将来を考えて、才能を開花させる「進化する脳」を育む必要があると述べています。

◆才能を発揮する脳を育て、機能を高めるには、「本能を磨きながらその過剰反応を抑えること」「よい心を育てること」が必須。

◆いつまで経っても「子ども扱い」を続け、「ああしなさい、こうしなさい」と指示していると、子どもはどんどんやる気をなくし、脳の機能を落としていく

◆3歳～7歳で徹底的にやめさせたい、育脳に悪い習慣

- ① 物事に興味を持たない、感動しない
- ② 無理、できない、大変など否定的な言葉を使う
- ③ よく「あとでやるよ」と言う
- ④ 集中できず、途中で違うことを考える
- ⑤ だいたいできたところでやめる
- ⑥ 人の話を聞き流す
- ⑦ 人をバカにする、尊敬できない
- ⑧ 学んだことを確認しない
- ⑨ 自分が失敗したことを素直に言えない
- ⑩ 損得を考えて手を抜く

◆道標となる大きな目標

- 3～7歳 脳にとって悪い習慣をやめ、「勉強やスポーツができる脳」のベースを育てる
- 7～10歳 自ら学ぶ「本当に頭がよい脳」を育てる